

新良貴社長と渾然一心同體

主筆樋口吾笑

浪花の天地に産聲を挙げ浪花の郷土に成育され日本全國津々浦々に發展せる淨瑠璃義大夫節の爲に創刊したる浪花名物淨瑠璃雜誌が明治三十二年以來或は藝術的に或は又日清日露その他戰爭の爲に又經濟的に甚しきは英米思想崇拜の敵性者の爲に傍觀座視するを容さず。藝界の公機として異端者等と苦戦敢闘、然も何等貢獻するなく、徒に誌齡四十五年の生命を保ちて全國僅かに一二と屈指さるるとも無爲に長歲月を徒費せし事全く慚愧に堪へず。偶浪速船場の巨商にして大阪を愛し淨瑠璃を愛すること切實なる新良貴草樂氏と語り。其の理想の公明なる其の企劃の斬新なるに共鳴し、直に一切を氏の經營に移し拙者は主筆として老骨を愛道愛誌に捧ぐるを誓ひ又豫て老生吾笑の爲、公機の爲、郷土藝術の爲、絶大の親愛を寄せ國家的見地より文化並に思想戰に於て緊要缺くべからざる淨瑠璃の培養を懇説せる本誌同人諸君の賛成協力を仰ぎ献身的義大夫節報公に薦進する事となり。知己、親戚、家族にも藝術のため國家の爲、永久存続。日本精神昂揚を説いて同意を求めたるに皆々感激即時斷行を強調せり。更に創刊者故吾笑の靈前に於て草樂氏の滅私奉公愛道の赤誠と混淆し長くもあらざる一生を終らん覺悟を告げて其の認諾を禱りたり茲に以上の次第を縷述し、以て永年愛護を垂給ひし讀者諸君

に之れを報告して諒承を願ふと共に倍舊の御庇護を請ふ。

凍つては百鍊の鐵となり一皇國を護り、夷狄を戰慄せしめ發しては萬衆の櫻となりて譽を世界萬邦に輝かしめた。我が大和の國民性を通俗平易に大衆をして咀嚼せしめ、玩味涵養せしむるを以て音曲の司たる義大夫節の最高任務とされたるも漸次衰運に傾き、動もすれば日本國民性を離れ米英思想に感觸れたるを嘆く折柄。支那事變勃發するや忽ち二千六百年間鍛へ鍛へたる忠君愛國の皇民魂は陸に海に空に亞細亞の北極より支那、印度、南洋と電光石火霹靂東半球の天地を掩ひ流石に雄を誇れる暴英、驕米の出端を挫折寸斷したる大戦果は畏れ多き事乍ら上御一人の稜威と申上ぐる迄もなく抑も又淨瑠璃精神の發揚！磐石と搖がざる忠君愛國の大和魂の躍動に外ならずと信ず、故に本誌は最親愛なる淨瑠璃家諸君と共に一に君忠愛國。二に藝術報公を以て敢然奮闘せんとするものなり、是を以て時代錯誤の思想より構成せる外題、作詞作曲は當然排斥し。忠良なる日本帝國臣民として又大東亞指導國民として恥かしからぬ時代適應の新作詞、新作曲を推奨し以て諸民族を皇化に浴せしめ、以て大東亞建設完遂に九牛の一毛たりとも貢獻せんことを希ふ。

是れ昭和聖代に生を享けたる臣民の職域報公と確信し萬難を排し健闘せん、天下の志士奮つて御鞭撻を給へ。